

地域とともにある
学校づくり

えべつ型コミュニティ・スクール

えべつCS通信

江別市教育委員会 教育部 総務課



「えべつ型CS」地域とともにある学校づくり【実践例紹介】

江別市の伝統（教育のまち：オール江別で子どもを育てる）を基盤として、学校・家庭・地域が連携・協力して子どもを育てる持続可能な仕組みを持った学校づくりを行う「えべつ型コミュニティ・スクール」の実践例を、前号に引き続き紹介します。

江別第一小 （開校2年目、まちぐるみで子どもたちを育てていく地域に根差した学校を目指して）

「第一小 de lunch」 《地域に開く》

8月24日(木)に開催した第2回学校運営委員会で地域公開事業の一環として、給食センターとも連携し、地域の方々を招いて、給食試食会と学校見学会を開催することを決定し、以下のとおり実施しました。

日時 9月29日(金) 12時から

場所 第一小3階ランチルーム

費用 一人あたり274円(給食費)

給食だより 1-2月号

昭和44年1月23日 発行
江別市立学校給食センター



給食センターから昔使っていた食缶やスプーンなどを借りてきて、展示。壁には、昭和44年1月と平成29年9月発行の給食便りが貼ってあり、当時と今のメニューが比較できる、興味深いものとなっていました。

栄養教諭から、当日のメニューは、江別産のキャベツやタマネギを使ったマリネ、江別小麦100%のソフトフランスパン、国産大豆たっぷりのトマトシチュー、照り焼きチキン、牛乳の5品目との紹介がありました。

児童会長の歓迎の挨拶や、4年生、5年生、6年生のそれぞれの代表によるリコーダー演奏も行われ、出席した34名の方は、おいしい給食と児童の歓迎を十分楽しんだ後、校内を見学しました。

江別第二小・江別第二中 (小中の校区が一致していることから小中連携の取り組みとして)

「第二小学校・第二中学校、地域合同清掃」《小中連携・地域との協働》

4月に小・中で打合せをして、校外清掃を合同で行うことにしました。

5月29日(月)に開催した第1回学校運営委員会で発表したところ、委員の中から「声をかけていただければ協力する」との意見をいただきました。

両校とも、それぞれのホームページでお知らせをし、自治会にもチラシと地図を回覧していただきました。

【案内の内容】 第二小・中学校周辺地域の通学路や公園などを小学校6年生と中学校1・2年生が6グループに分かれて清掃活動等を行います。地域の皆様方も一緒に清掃活動に参加していただければ幸いです。

9月26日(火)10時30分から、第二中グラウンドで全体説明後、6グループに分かれて清掃を行いました。



東野幌小 (今までやってきたことをコミュニティ・スクール事業として行うことに)

「子どもを守る運動」 《地域・保護者との連携》

東野幌小では、不審者対策の一環として、保護者有志が、平成13年に「ふくろうの会」を立ち上げました。その後、各自治会でも独自に安全指導やパトロールをしてくださっています。ちなみに、会の名前は、おふくろ、森のふくろうのように大きな目で見守りたいところから名づけたとのことで、今は、PTA 全会員がふくろうの会の会員です。



写真は左から、地域保全代表者会議、ボランティアの見守り活動、自治会との夏休み合同夜間巡視。

「用語」解説 ④ えべつ型CSの「えべつ型」とは

江別市では、既存の学校評議員と学校関係者評価委員会を発展的に統合し、新たに学校運営委員会を設置し、コミュニティ・スクールを導入しました。

これまで、学習支援や体験学習などの様々な場面で、多くの地域の方に活動していただいていたが、こうした本市が培ってきた伝統である、地域が学校を支援する仕組みを活かす中で、各小中学校が地域に支えられ、江別らしく、より一層充実・発展していくことを期待し、「えべつ型コミュニティ・スクール」という名称を採用しました。